

HUMANATURE

KEEP THE PLANET COLD
AND THE PEOPLE ON IT WARM

地球を冷たく、住む人々を暖かく

CANADA GOOSE

レポートについて

今回で4度目となるレポートでは、特に記載のない限り、2022年4月3日に終了した年度(本書では「FY22」と表記)の戦略、業績、地域社会との関係について述べています。(数力所でFY22と2020年4月1日から2021年3月28日までの「FY21」を比較)。私たちは、現時点で可能な限り、サステナビリティ会計基準審議会(SASB)に準拠しています。また、私たちの活動の結果として、国連のSDGsに貢献することも考えています。

レポートの流れ

カナダグースは、世間の流れについていくのではなく、一歩先を行くのです。

環境、社会、ガバナンスの領域として(ESG)レポートが進歩する中で、私たちはより厳格な基準と大きな期待に応えるため、積極的にそのプロセスを適応させています。2019年の初めての報告から現在まで、私たちは報告プロセスの透明性と妥当性を高めることに力を入れてきました。

本書では、当社の持続可能なインパクト戦略の実行における最新の進捗状況をお伝えします。現在、この報告書を発表することで、会計年度と対応する暦年をより適切に整合させることができます。FY23の報告書は2023年春に発表し、年間報告サイクルへと戻す予定です。

これは、地球を冷たく、住む人を暖かく保つという、私たちのコミットメントの一部なのです。

内容

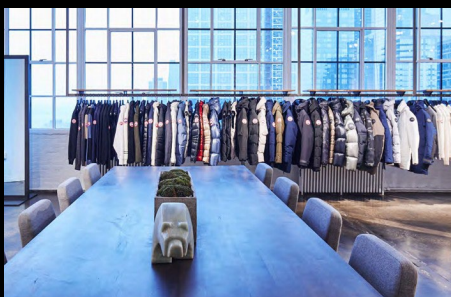
カナダグースでは、どのような状況にも耐え、細部まで観察し、長期的な視点で、地球を冷たく、住む人々を暖かくするために活動しています。本レポートでは、カナダグースのFY22の業績についてご紹介します。



製造とオペレーション
06



素材
04



責任あるビジネス
12

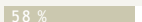


人々と地域社会
10

サステナブルインパクト戦略

私たちの戦略には、使用する素材、製造とオペレーション、人々とコミュニティ、責任あるビジネスの実践に関連する明確な目標が含まれています。進捗状況報告におけるすべての項目は現時点のものであり、特に記載のない限り、2022年4月3日を示します。¹

分野	目標	目標期限	進捗状況
素材	2025年末までにすべてのパッケージをより持続可能なソリューションに移行する。 ²	2025年末	59% FY21 75% FY22
		2023年末	進行中 FY21 FY22
	持続可能なソリューションを定義し、基準値測定を行い、当社のパッケージの持続可能な素材と再利用率を向上させる計画を確定する。 ³	2023年末	進行中 FY21 FY22
	私たちが所有または管理するすべての施設において、シュリンクラップなど、リサイクルできない使い捨てプラスチックを排除する。	2022年末	進行中 FY21 FY22
	2021年末までにカナダグース独自のダウン透明性基準(DTS)から世界的な責任あるダウン基準(RDS)へ移行する。 ⁴	2021年末	100% FY21 100% FY22
	カナダグースの国内生産において、テキスタイルエクステンジが指定する推奨繊維および原材料(以後PFMs)を満たす素材の割合を90%にする。 ⁵	2025年末	21% FY21 51% FY22
	カナダグースの国内生産において、ブルーサイン®認証を取得した生地を90%に引き上げる。	2025年末	84% FY21 65% FY22
	PFASを含まないアーキティック テック素材のみを購入する。	2023年末	新たな目標 FY21 進行中 FY22
	スコープ1および2の排出量をネットゼロにする。	2025年末	3% FY21 2020年比で3%削減 FY22 2021年比で6%増
	各年の温室効果ガス排出量の200%に相当する量を削減、回避、または除去するプロジェクトに投資することで、会社の事業活動(スコープ1および2排出量)におけるカーボンニュートラルを維持する。	2025年までに ネットゼロエミ ッションを達成する までの年間目標	FY21 FY22 両年度ともにカーボンオフセットを達成
製造とオペレーション	再生可能エネルギーに関する取り組みを導入する。 ⁶	2022年末	進行中 - 開始済み FY21 進行中 FY22
	エネルギー効率および再生可能エネルギーの購入または設置に投資する。 ⁶	2023年末	進行中 - 開始済み FY21 進行中 FY22

分野	目標	目標期限	進捗状況
	スコープ3の排出量を測定し、2024年までに目標を設定する。	2024年末	新たな目標  FY21 進行中  FY22
	消費者保証後のグローバル保証廃棄物製品の100%を転換する。 ⁷	2025年末	 FY21 この作業は、パンデミックによる国境を越えた輸送の混乱によって中断  FY22 寄付やアップサイクルなどの転用により達成
	科学的根拠に基づく目標を設定し、SBTi（Science Based Targets Initiative）に提出し、承認を得る。 ⁸	2022年末	新たな目標  FY21 進行中  FY22
人々と地域社会	ポーラーベア インターナショナル(PBI)の調査・保護活動への支援を通じて、北極圏の保護を推進する。	継続中	20年度に総額60万ドルを寄付 21年度は総額107万2,325ドルを寄付
責任あるビジネス	Tier1 の評価を完了する。	2022年末までに100%達成	 FY21 COVID-19に伴う影響により、現時点では未達成  FY22
	Tier2,Tier3の製造業者にCG社会貢献プログラムを導入する。	2022年末までに50%達成	 FY21  FY22

また、FY21は、以下の目標を達成しました。これらは継続的・年次的な取り組みではないため、FY22は報告を控えています。

重点分野

素材	売れ筋商品のカーボンおよびウォーターフットプリントを特定するライフサイクルアセスメントを10回実施する。
責任あるビジネス	総合的なスコアカードとモニタリングシステムを含む、協力的な社会的パフォーマンスプログラムを開始する(Tier1)。

- 1 サステナブル インパクト戦略では、分かりやすいように、会計年度ではなく暦年を基準として目標を設定しています。進捗状況は、特に記載がない限り、2022年4月3日時点のものです。
- 2 無駄な包装をなくし、ギフトボックスを100%リサイクル素材に転換し、現在の在庫を消費して消化した後、100%リサイクル素材のプラスチックポリ袋に移行する計画を立てています。
- 3 カナダグースのエンタープライズ・プロジェクト・マネジメント・オフィス(ePMO)は、社内の主要な関係者を集めて競合ブランド調査を実施し、パッケージ専門機関を導入している段階です。その成果は、2022年末に期待されています。
- 4 RDSへの移行は完了していますが、FY22はRDSを99.8%、リサイクルダウンを0.2%調達しています。
- 5 カナダグースは、ブルーサインの基準に該当しないリサイクルウールなどのPFMを優先的に使用することを決定したため、ブルーサイン®認証の生地は減少しています。
- 6 ビジネスと最も整合性のあるプロジェクトを特定するプロセスにおいて。
- 7 私たちの目標は、2025年以降、毎年100%の転換を実現することです。この目標は、1年あたりの消費者保証後のグローバル保証廃棄物の総量に基づくものです。基準値と比較して、時間の経過とともに累積するものではありません。2025年まで、さまざまな転換方法の試験を実施するため、年間の転換率は毎年変動します。
- 8 Science Based Targets Initiativeの詳細については、sciencebasedtargets.orgをご覧ください。



素材

カナダグースの製品は、人々を風雨から守り、暖かくすることを目的として作られています。そして、これらの製品にはパッケージを含め、地球を保護し、冷たく保つという私たちのコミットメントが反映されています。私たちのプロセスは、その性能と環境への持続可能性が証明されている原材料を慎重に選ぶことから始まります。

責任あるダウン基準(RDS)

ダウンはその性能ゆえに、当社にとって重要な原材料です。FY21は、信頼性の高いCoC認証プログラムとして世界的に認知されているRDSへの移行を無事達成することができました。FY22は、調達したダウンの99.8%がRDSの認証を受けており、0.2%はリサイクルダウンでした。

推奨繊維および原材料(PFMs)

PFMとは、リサイクル素材やオーガニック素材など、責任を持って調達された素材のことです。当社は、国内製造におけるPFM素材を優先的に採用しており、最終製品の大部分(78%)を占めています。FY22は、国内生産製品において、第三者によって検証されたPFM素材を51.35%(20年度の21%から増加)達成しました。2025年に90%のPFMを達成するために、引き続き調達を加速させています。

FY22は、第三者である多くの製造メーカーが、レザーワーキンググループ(LWG)認証の革の購入を開始しました。FY22に購入した革のうち、合計で60%がLWG認証を取得しています。この件に関しては、FY23版でさらに詳しい情報をお伝える予定です。

ブルーサイン®認証取得済み素材

当社は、化学物質、素材、製品の安全性に関する第三者機関として世界的に認知されているブルーサイン®のシステムパートナーです。数年にわたり、国内生産におけるブルーサイン®認証を取得した素材の使用量を着実に増加させました。

FY22では、ブルーサイン®認証を取得した素材は減少し、FY21の84%から65.49%になりました。これは主に、ブルーサイン®の基準に該当しないリサイクルウールなどのPFMを優先することを決定したためです。リサイクルウールを除外した場合、ブルーサイン®認証を取得した素材の割合は78%になります。

PFASフリーのアークティック テック素材

PFAS(有機フッ素化合物)は、防水・防風性を実現する物質ですが、環境中に流出すると分解されません。FY21は、アークティック テック素材のPFASを廃止することを約束し、この素材を再開発するための社内プロセスを開始しました。FY22は、より少ない環境負荷で性能を満たす化学物質や素材の選択肢を研究する1年でした。

持続可能なパッケージング ソリューション

FY22は、すべてのパッケージをより持続可能なものへ移行するという2025年までの目標のうち、86%を達成しました。当社のサステナブル パッケージング ワーキンググループは、検証済みのリサイクル素材やその他の環境に配慮した素材やデザインを取り入れることで、この進捗を推進してきました。

また、すべてのパッケージを持続可能なものへ移行させるという、2025年までの目標達成に向けた戦略を描くために、持続可能なパッケージの製造とデザインに精通した戦略パートナーを選びました。

持続可能な素材に関する進歩について、詳しくは SASB Index をご覧ください。

国内生産で使用する素材調達

ダウンの内訳

99.8%

責任あるダウン基準(RDS)のダウン

0.2%

リサイクルダウン

素材の内訳

<0.1%

責任あるウール規格(RWS)のヴァージンウール

1.8%

リサイクルポリエステル

34.1%

リサイクルナイロン

15.4%

PFM混合

48.6%

オーガニックコットン



製造とオペレーション

私たちは、北部の永久凍土の融解や氷河の後退など、気候変動を目の当たりにしています。また、私たちのコミュニティ、ビジネス、環境を守るために進むべき道も見えています。価値ある影響を与えるために、私たちは3つの柱からなるネット・ゼロ・カーボン戦略を見直し、開始しました。同時に、廃棄物を減らし、資源を有効に活用することにも取り組んでいます。

ネットゼロへの道筋

私たちは、2025年末までにスコープ1と2の温室効果ガス(GHG)排出量をネットゼロにすることを約束しました。(スコープ1はカナダガスが所有または管理するソースからの直接排出、スコープ2はカナダガスが購入した電気、熱、冷却、蒸気の生成に伴う間接排出を含む)。私たちの垂直的なビジネスモデルを考えると、私たちのネットゼロは、年間を通じてCO₂e排出量を1,000トン未満に抑えることを指しています。

FY21に発表した炭素削減計画は、3つの主要な目標を含んでいます。

- ・建物効率の向上
- ・炭素源を削減する
- ・再生可能エネルギーを取り入れる

私たちは、これらの目的にそれぞれ関連する目標を設定しています。FY22には、私たちのビジネスに最もふさわしい、ネットゼロ目標に向けた進捗を最大化する具体的なエネルギー効率、再生可能エネルギー、カーボンオフセットプロジェクトを明らかにしました。

FY23も引き続き、再生可能エネルギークレジット(REC)への積極的な投資を計画しています。私たちは、地域の電力網における再生可能エネルギーの割合を増やすために、私たちが事業を展開しているさまざまな地域のプロジェクトからRECを購入する予定です。FY23に各地域で購入するRECは、FY22の電気使用量に応じた換算値で購入することになります。

カナダガスはまた、スコープ3排出量(カナダガスのバリューチェーンにおいて発生する他の排出源すべてに起因する間接排出量)を特定するために、第三者のカーボンコンサルタント会社と提携しました。2022年初めにデータ収集を開始し、暦年2024年末までに排出量を測定して目標を設定するという計画を順調に進めています。

炭素削減戦略については、「FY21 ESG レポート」のP32～33をご覧ください。

即効性のある投資

二酸化炭素排出量の削減を目指す一方で、私たちは企業としての成長も続け、店舗の展開も拡大しています。FY21からFY22にかけて、私たちは十数店舗を新たに展開しました。私たちは、ネット・ゼロ戦略を計画し、実行する中で、この成長も考慮しています。

直ちに有意義な変化をもたらすために、私たちは事業改革を行うと同時に、カーボンオフセットプロジェクトに投資しています。これらのプロジェクトは世界各地にあり、私たちのスコープ1と2の年間GHG排出量の200%に相当する量を削減、回避、除去し、その結果、私たちはカーボンニュートラルを実現しています。このプロジェクトは、私たちが排出するGHGを年間を通じて相殺するものです。

私たちはCarbonzeroと提携し、国際的な基準で認証され、第三者によって検証された高品質のカーボンオフセットを選択できるようにしています。FY22、カナダガスは検証済み炭素基準の認定を受けた Grouped Connect Solar PV Power Generation Project (中国) に投資しました。

このプロジェクトは、中国三峡再生可能エネルギー(グループ)有限会社が実施するものです。化石燃料発電所で発電された国家電力網向けの電力を、同量の太陽光発電で代替することを目的としています。

廃棄物を出さないために

北極圏のツンドラ地帯でのトレッキング、標高の高い山での登山、そして街中での移動など、私たちの製品は長く着られるように作られています。しかし、どんなに耐久性のあるジャケットを作っても、時間とともに摩耗や損傷が蓄積されることがあります。そこで、私たちはお客様にとって付加価値のあるパーカの修理サービスを提供しています。

修理サービスに加えて、私たちは業界をリードする保証プログラムを提供し、これを通じてジャケットの素材や製造上の欠陥に対して、製品の耐用期間中、徹底的に保証しています。

万が一、製造上の欠陥で不具合が発生した場合は、無償で修理するか、当社の判断で製品を交換します。そして、私たち保証チームは、欠陥のある製品を検査しながら、製品の改善や廃棄物の削減のために必要な情報収集を行います。

返品された製品を交換しなければならないと判断した場合、「使用済み製品に関する保証廃棄物」は私たちの手元に残ります。私たちは、返品された製品のライフサイクルにおける次のステップを決定するために、「保証衣類の回収ヒエラルキー」を開発しました。現在、使用済みジャケットは、寄付して再利用するのがふさわしいか、解体して素材をリサイクルするのがふさわしいかを判断するためのプロセスを経て、それぞれ回収されています。これは、2025年末までに年間の保証廃棄物をすべてリサイクルするという目標に向けた大きな一歩となります。

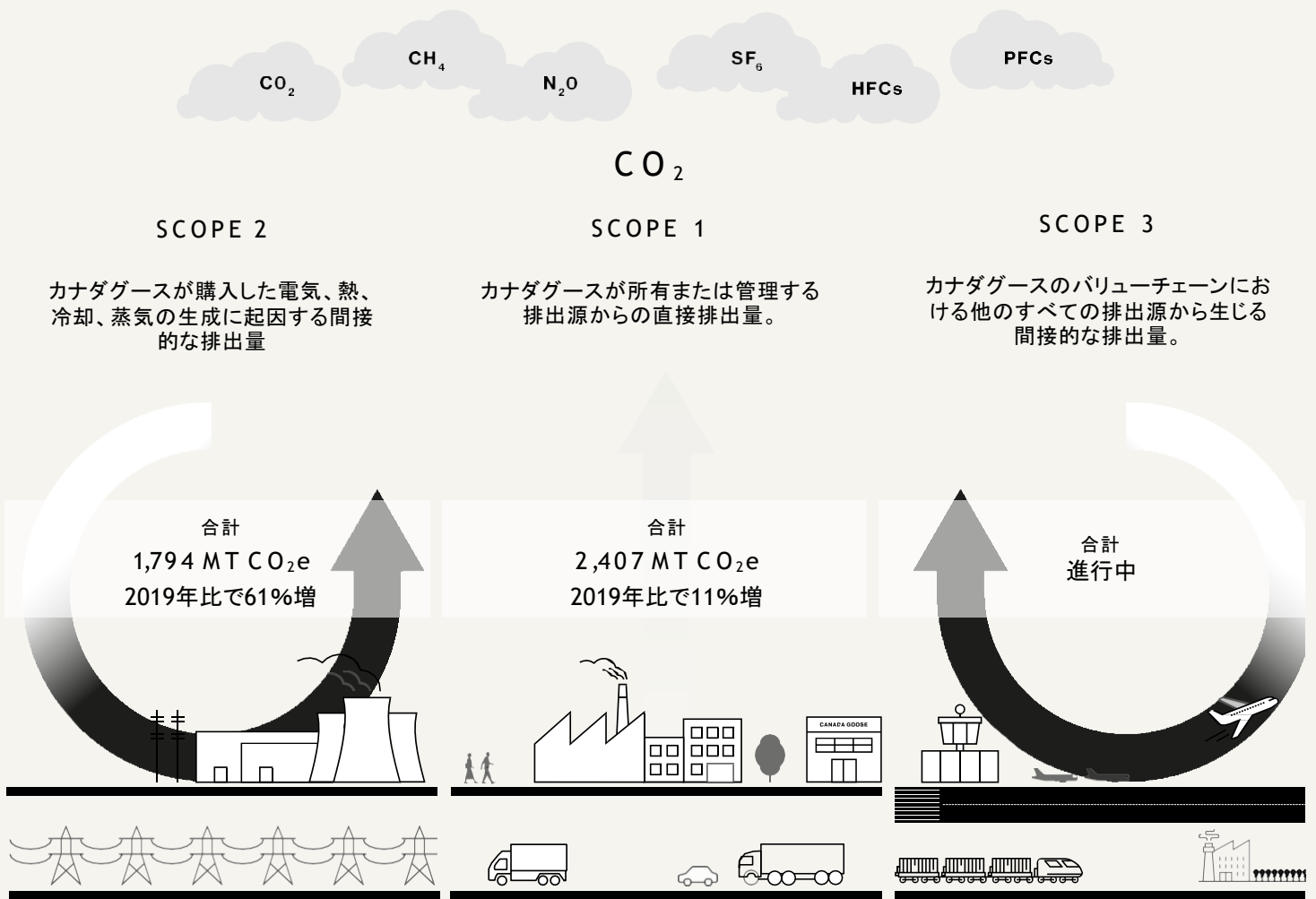
カナダ、米国、欧州の繊維リサイクル業者と提携し、使用済み保証製品のさまざまなリサイクルや再利用・寄付の方法を試行しています。リバース ロジスティクスパートナーであるデブランド社とともに、FY22には全世界の保証廃棄物の61%を埋め立て地から流用し、3,430着の衣類をアップサイクルおよび寄付することに成功しました。これらの衣服の大部分(保証廃棄物全体の53%)は、カナダ北部とウクライナのコミュニティに寄付されました。

デブランド社とのパートナーシップにより、FY21、FY22ともに、カナダでの保証廃棄物を100%転換することを達成しました。

保証衣類の回収ヒエラルキーの詳細については、「FY21 ESGレポート」のP38をご覧ください。



FY22の温室効果ガス排出量



二酸化炭素換算値(CO_2e)とは、地球温暖化係数に基づいて、さまざまな温室効果ガスの排出量をメートルトン(MT)単位で比較するために用いられる指標です。カナダグースは、GHGプロトコル企業会計報告基準で定められたスコープ1、2、3の定義に準拠しています。



人々と地域社会

人間関係はHUMANATUREの核です。私たちは施設の内外問わず、尊敬と情熱、そして思いやりのある姿勢で人間関係を築くことに力を注いでいます。私たちは、健全な職場の維持、従業員のキャリアアップのための準備、地域住民を暖かく包み込むこと、イヌイットの伝統を祝うこと、そして人間と自然を結びつけるための取り組みを行なっています。

ダイバーシティ&インクルージョン(D&I)の拡大

私たちは多様性の力を信じ、社員が自分らしさを発揮し、それを受け入れることで、最高の仕事ができると信じています。私たちは、あらゆる形態、定義における多様性を受け入れています。そして、全ての人が、毎日、どんな状況でも、自分らしく生きられるような、インクルーシブな文化、公平な職場を作るために、障壁をなくすことに努めています。

このような職場環境を作るには、継続的な取り組みが必要です。毎年、全従業員が「職場における尊重」についてのトレーニングに参加し、文化の感受性、偏見、ハラスメントに関する理解を深めています。FY21には、人事採用チームも無意識の偏見に関するトレーニングを受講しました。FY22には、無意識な偏見が及ぼす影響を監視するために、社内従業員を育成・昇進させるプロセスを見直しました。

FY21に発足したインクルージョン・アドバイザー・カウンシルは、当社のブランドと従業員にとって確かな方法でD&Iを推進するための基盤を構築しました。FY22には、この分野での継続的な活動をリードするために、ダイバーシティ&インクルージョン部門のディレクターという役職を設けました。ディレクターと協議会は、カナダグース全体の認識を向上させることから始まる、データに基づいたD&I戦略を共に開発しています。

従業員への働きかけと育成

私たちは毎年、全世界の従業員を対象にアンケートを実施しています。FY22は95%の社員が参加し、社内でのどのように関わっているか、何がうまくいっているか、どこに変革が必要かを明らかにするのに役立てました。

私たちは、各調査の結果を真摯に受け止めています。例えば、FY21に実施した従業員意識調査では、もっと学習や能力開発の機会を増やしてほしいという声が寄せられました。そこでFY22は、グローバル・メンターシップ・プログラムを継続するとともに、マネージャー育成のためのグース・リーダーシップ・プログラムなど、新しいプログラムを試験的に実施しました。15人の従業員がグッド・リーダーシップの試験を合格した後、年度末までにさらに120人が参加を申し込んでいます。

従業員に対する取り組みについては、「FY21 ESGレポート」のP50～51をご覧ください。

価値観の創造と共有

北部は私たちの故郷です。何十年も前に、私たちは思いやりと繋がりを持った隣人になることを心に決めました。

そのひとつが、イヌイットの文化を称え、パーク製造の原点である北の職人たちを支援することです。イヌクティット語でパークを意味する「アティギ」プロジェクトでは、イヌイットのデザイナーに依頼し、彼らの伝統的な手法と私たちのモダンな素材を使って、世界にひとつだけのパークコレクションを制作しています。売上は、イヌイット・ヌナグット(GIT)の4つの地域と連携する代表的な組織であるITK(Inuit Tapiriit Kanatami)を通じて、イヌイットのコミュニティへ還元されます。

カナダグースのアートコレクションは、カナダ国内外のアーティストによる作品であり、カナダグースと北の大地との深い関わりを反映した、絶えず進化し続けるコレクションです。このコレクションは、世界各地の直営店で展示されています。

この10年間、私たちはPolar Bears Internationalの支援を続けてきました。この非営利団体への貢献を通じて、重要な研究を支援し、北極圏の未来に関心を持つ人々を啓発することを目的としています。FY22には、総額1,072,325ドルの寄付を行いました。

社内に寛容な文化を根付かせるため、社員が慈善団体に寄付した場合、各年度、社員1人あたり2,500ドルを上限に、同額を寄付しています。ITKやPBIなど、カナダグースが企業として支援している団体に社員が寄付をした場合は、上限5,000ドルまで、倍額を寄付しています。FY22には、従業員の寄付とマッチング寄付を合わせて、132,790ドルを慈善団体に寄付しました。

地域社会との関わり方については、「FY21 ESGレポート」のP54～62で詳しく紹介しています。

4,745

全世界の社員数

社員男女比

1,173 男性	3,569 女性
-------------	-------------

記載なし=3

A photograph of a modern interior space, likely a retail store or office. In the foreground, a long, light-colored wooden table is partially visible. Behind it, several grey upholstered chairs are arranged. In the background, a rack of Canada Goose jackets hangs in front of a large window. The jackets are in various colors, including dark blue, white, and red. The window looks out onto a city skyline. The text "責任ある企業" is overlaid on the left side of the image.

責任ある企業

私たちは、誠実さと説明責任という高い基準に沿って、事業を超えて、消費者、従業員、ビジネスパートナー、サプライヤー、投資家にどのような影響を与えるかを考えています。私たちは、ビジネスをどのように構成し、管理するかということと、地球とそこに住む人々を大切にすることの間には密接な関係があると考えています。

トップレベルのリーダーシップ

環境・社会(E&S)委員会は、環境・社会政策、計画、プログラムの継続的な取り組みに対する監督責任を果たす取締役会を支援するために、FY22に設立されました。E&S委員会は指名・統治委員会と密接に連携し、ESGがカナダグースの企業統治に組み込まれていることを確認します。委員会の集中的な指導により、環境と社会問題を当社の長期ビジョンと日々の業務にさらに組み入れることができます。

統治体制については、「FY21 ESGレポート」のP67～68で詳しく紹介しています。

サプライチェーンの管理

社会的パフォーマンスプログラムを通じて、私たちは製品を作る人々を保護し、尊重するための取り組みを行っています。このプログラムでは、毎年、社会的自己評価と第三者による評価に加え、総合的な評価カードとモニタリングシステムを使用しています。

FY21には、Tier1製造業者全体でプログラムを開始し、Tier2およびTier3への導入を開始しました。FY22末までに、Tier2およびTier3メーカーの25%をオンボード化しましたが、2022年末までに目標の50%を達成する予定です。

社会的パフォーマンスプログラムの一環として、サプライヤーは、当社のサプライヤー行動規範に記載されている基準に対して定期的に監査を受けます。当社の適正評価プロセスは、サプライヤーの自己評価から始まり、第三者による社会的評価の要請および審査、そして是正措置計画の提出および審査が行われます。FY22には、独立した第三者によるカナダグースの行動規範の監査が31件行われました。また、当社の代理評価方針によって15の社会的評価を受け入れ、従業員25人未満の9つの施設は自己評価を提出しました。

FY22、カナダグースでは、多くのTier1およびTier2の工場にヒグ工場環境モジュール(FEM)評価を完了するよう依頼しました。これらの工場の多くは、FY22に検証を受けたか、2022年12月31日までに検証を受けると予想しています。

Tier 1:

最終製品製造(カナダグースが所有・運営する工場と、当社が直接関与する最終製品製造業者)

Tier 2:

原材料の仕入れ先

Tier 3:

糸・紡績・繊維加工業者

サプライヤー監査方針を含むサプライチェーン・マネジメントの詳細については、「FY21ESGレポート」及びSASB INDEXのP70～73ページをご覧ください。



全ての人を尊重する

私たちの事業にも、サプライヤーにも、いかなる差別も存在しません。私たちは、「ビジネス行動・倫理規範」と「サプライヤー行動規範」に記載されているように、従業員、サプライヤー、パートナーがすべての人を公平に扱い、誠実に行動し、責任を持って業務に取り組むことを求めています。

当社の内部告発ポリシーは、従業員および第三者が、実際の非倫理的行為またはその疑いを、望まない場合は匿名で、否定的な結果を恐れることなく、内密に報告できることを保証します。

完成品（製造および購入）の合計：
21年度の各生産地域の総生産数に対する割合：

北アメリカ

78%

ヨーロッパ

20%

アジア

2%

このレポートについて

未来をどう語るのか

本書には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、過去の実事や将来の業績を保証するものではありません。したがって、これらの記述は、当社の事業の将来、将来の計画および戦略、ならびにその他の将来状況に関する当社の現在の見解、期待および仮定に基づくものです。これらの将来予想に関する記述は「予期」、「予想」、「予測」、「期待」、「計画」、「可能性」、「見込み」、「決意」、「確信」、「評価」、「目標」、「対象」、「目的」、「プロジェクト」等の語句の使用によって識別できますが、必ずしもこれらの言葉を含むとは限りません。これらの見通しには、過去の実事以外の事項が含まれ、特に当社のサステナビリティ戦略、排出量・エネルギー消費量、目標、環境・社会貢献に関する業界の動向に関する見通し、当社の事業計画や目標などに関する意向、見解、または現在の見通しに関わる記述が含まれています。また、この記述は将来起こりうる出来事に関連するため、リスクや不確実性を含んでいます。

適用される仮定、リスクおよび不確実性には、特に、本書を通じて特定されるリスク、2022年4月3日に終了した年度のForm 20-Fの年次報告書において「リスク要因」の見出しで特定されるリスク、ならびに当社が証券取引委員会やカナダの各州および地域の証券委員会または同様の証券規制当局に提出するその他の情報などがあります。本書に含まれる将来の見通しに関する記述について、合理的と判断する前提に基づいていますが、仮定が実現しなかった場合、科学技術の発展、サステナビリティ戦略の進展、炭素市場の変化、政府規制の改定、または事業環境の変化により、目標および公約の達成を含む実際の結果や展開が、将来の見通しに関する記述の内容や示唆と大きく異なる可能性があることをご留意ください。また、当社が現在認識していない追加的な影響が生じる可能性もあります。このような追加的な影響は、当社が直面する経営及び事業上のリスクを拡大するものであり、本書中の将来予想に関する記述をご覧いただく際には、これらのリスクを考慮いただく必要があります。また、仮に本書に含まれる将来の見通しに関する記述と一致する結果や展開が得られたとしても、それらの結果や展開がその後の業績や展望を示すものではない可能性があります。その結果、本書に記載された当社の将来予想に関する記述の一部または全てが不正確であることが判明する可能性があります。また、いかなる将来予想に関する記述も、将来の結果を保証するものではありません。

さらに、私たちは、新たなリスクがしばしば生じる、高度な競争と急速な変化の中で事業を展開しています。当社の経営陣がすべてのリスクを予測することは不可能であり、また、あらゆる要因が事業に与える影響や、どんな要因や組み合わせが原因で、将来の見通しに関する記述に含まれるものと実際の結果が大きく異なる可能性があるかを判断することはできません。皆様には、当社の将来の業績が予想と大きく異なる可能性があることをご理解いただいた上で、本書および本文中で言及している文献をご覧ください。皆様には、当社の将来の業績が予想と大きく異なる可能性があることをご理解いただいた上で、本書および本文中で言及している文献をご覧ください。本書における将来の見通しに関する記述は、この文書の日付時点のものであり、当社はこれらの記述を更新または修正する義務はありません。



Learn more about sustainability at Canada Goose:
canadagoose.com/sustainability

Copyright © 2022 Canada Goose Inc.